

いや～、遂に僕にとって最後のハードコアオープンが明日開催されます。
ハードコアというのは、僕にとっては、子どもの頃のサッカー大会の前の晩のようなワクワク、高揚した気分を味わわせてくれるものでした。
それも月に1度、必ずやってきます。
今思えば、このインターバルが一番心地よかったのかもしれない。
長くもなく、短くもなく、まだかなって思った頃にやってくる・・・
みたいな。

ハードコアをそもそもやり始めたのは、僕が置かれた環境の中では、シングルス的一般大会というものが余り多くなく、もっと密に試合馴れしたいなあという気持ちが一つと、日々の練習について、ある時は刹那的に、また、ある時は受動的に、ただ漠然と4人揃えてダブルスのゲームみたいな予定調和な練習をやってしまいがちが自分に対して前から倦怠感と嫌悪感を抱えていて、それを川本からの転勤を機に省みて、自分のテニスライフについて1ヶ月くらいのスパンで練習と本番というメリハリを加えた上で、一定のリズムが作れば、凄く上達するんじゃないかと思ったことがきっかけです。

そうやって、やってみると、シングルスの草トーナメント的ないい意味でのお粗末さが却って参加の簡易さに繋がり、中身がシングルスでいささか体力的にもハードな部分があるのでたまには体にカツを入れる意味でいいかなみたいな感覚の上に、1, 2回負けてもA級みたいな人（いわゆる3強と上位T常連たち）とお手合わせ出来るしということで、お楽しみというんでしょうか、参加のメリットも感じてもらえたみたいで、意外と1度参加した人が常連になってくれるというケースが増え、毎月、大会運営に必要な最低限の参加者は容易に確保出来るようになりました。

始めた理由からも伺える通り、ただ、自分が上手になりたい、自分のテニスライフには月に一度の「本番」が必要だという全くの自己中心的な発想から生まれたハードコアですが、やりだして1年も2年も経つと本来の効果は勿論のこと、これが意外にとっても嬉しい副効果が生じ始めました。

まず、ハードコアという奇妙な、それでいてとても愛すべきコミュニティが出来たことです。一般の大会に出た場合は「ハードコア戦士」という共通項が仲間意識を呼び、意外にハードコア繋がりの方の試合を観戦したり、応援したり。僕などは応援する人が全員負けると「ハードコア全滅」とか、無意識にそういう言葉を発していましたね。逆にハードコア大会中の待ち時間にもテニスについての情報を交換した

り、アドバイスを貰えたり。微笑ましいことが一杯ありました。勿論、余り美化するつもりはないですし、この繋がりは吹けば飛んでいくような淡いものかもしれませんが、ただ単純に一般の大会と比べて、ハードコアに参加したほうがテニスの顔見知り
がストレス少なく増えるというのは胸を張って言えると思います。

それに、これが一番嬉しいのですが、ハードコア戦士の皆が明らかに上昇志向を持ち、いつかは田中さんや石飛さんといい勝負できるようになりたいという思いで自分たちのテニスライフにもメリハリを付け始め、ぐんぐん上達され出したことです。やはり、1月や2月に一度、白黒着けさせられると、負けたほうは悔しいですし、よく考えれば本来のスポーツが持つ「勝敗にこだわる」要素がピックアップされたのは当然かもしれません。

そして、全くの自分だけ良ければいいという自己中心的な性格の僕が、全体のレベルの底上げを実感したり、前には負けたことがなかった若手に負けだしたりすると、意外にも負けたのに関らず、嬉しかったりする感情が芽生えたりしたことに驚きました。

もう一つ言えること。正直、知られざる自分の側面が伺えたこと。でしょうか。つまり、本来人見知りで、幅広く色んな人と付き合うことが余り得意な方ではなく、人前で話したり、場を仕切ったり、もっといえば、準備とか世話役とか、これまでの人生で出来るだけ避けてきた僕のような人間が、いざ「ハードコアでハードな闘いを繰り広げたい」という思いが体を駆け巡ると、いとも簡単に、何の抵抗も軋轢も嫌悪感もなく、これらの事が出来てしまえるのです。まさに人間の神秘に触れた思いです。こうやってはぐぐまれた感情、メソッドは、テニス以外の僕の人生全般に影響を与えていると思います。

このように、思いも寄らない色々な示唆をくれたハードコア、素敵なテニス仲間とめぐり合わせてくれたハードコア、なんです、が、転勤を機に一旦僕としては、すっかり手を引くつもりです。ここまでハードコア礼讃をやっというて、「なんで？」という意味不明な文脈だと思われることでは、これは、以前からずっと抱えていた課題です。つまり、ハードコアがこのまま僕だけのハードコアのまま、つまり、高倉がいないと成立しない大会になっていていいのか、また、高倉がいなくても安定して継続可能なシステムを作り上げ、ハードコアを愛する人たち皆の大会に移行すべきではないかというものです。

ハードコアを今後もずっと継続していきたいという気持ちを強く持っています。これは僕がテニス出来なくなっても変わりはありません。死んだ後も続いてたらいいなとさえ思っています。だからこそ、今回のような僕の異動や

僕の不在でも動じない体制での運営が必要だと思っているのです。

だからといって、モチベーションの低い人に頭を下げて無理に体制を作ってもらっても、いずれ駄目になるでしょう。これは自発的な「ハードコア愛」が決定的に必要なのです。

今回、いい機会なので、じっくりとその体制が自発的に出来るのを期待しながら見守りたいと思っています。この4月からの数年は、長期的スパンでハードコアをみた場合の、「大いなる模索」の期間なのかもしれません。

色々、好き放題書かせてもらいましたが、この3年間ハードコアに参加していただいた全ての方々、ありがとうございました。いつもほとぼしるような面白ネタを提供していただいて、こちらは記事にするのが楽しかったです。ハードコアがなくなっても各自腕を磨きいつかまた再開したあかつきには、その上達ぶりを披露してください。

また、ハードコアの品質保証に大きく貢献していただいた完全無欠のスリータイムスチャンピオン田中さん、いつもシュールなテイストのブログ作りで、ハードコアの運営を大きくサポートしていただいたHP担当立さん、困った時の相談役、ハードコアスーパーバイザー植田さん、ハードコア幹部の荷物運び担当みなとっち、ストリンガー担当よしはるさん、サウスボー担当すみ先輩、通訳担当松尾さん、あなた方に居てもらうだけで心強かったです。本当にお世話になりました。ありがとう

お知らせ

今後の当ハードコアブログへは広島市内で行います、高倉VS新宮さんの定期戦の様態をリポートするほか、広島一般大会参戦記を寄稿したいと考えています。また暇つぶしにでも読んでください。

少しだけ、明日のウィナー予想

- ・明日はハードコアが最後と知って急遽広島から参戦の新宮さんのモチベーションが怖いですね。
- ・それと、いきいきプラザでは無敵の松尾さんが、場所を宍道に変えても同じようなパフォーマンスが出来るかどうか。
- ・前回、高倉に結果で負けて勝負では勝った感のある湊くんの調子も気になるところ。前回程度もしくはそれ以上のコンディションにあるかどうかでしょう。
- ・久々に参戦する三菱農機の渡辺くんも田中さんからフェデラーモデル貰って、ストロークに凄みが増しているので、要注意です。
- ・同じく久々出場の浦瀧さんも以前のトラウマで、携帯がいつ鳴るかピリピリしながらのショッパイ戦いが予想されますが。ニューラケを引っさげ、どんな球を打って

くるか不気味ではあります。

- ・ 前回、サプライズ落札で入手したアガシモデルを自ら懇切丁寧に張り上げ、OS旋風を巻き起こす可能性のあるよしはるさんも怖いですね。オーバーサイズに乗せて放たれるスライスの威力やいかに。
- ・ でも、やっぱり、優勝候補の筆頭は田中さんでしょう。前回福代さんに潰された足の具合はどうやら完治に近い様子。先ごろ草試合をさせてもらいましたが、圧巻のストロークに完敗でした。田中さん、何やら虎視眈々と秘密兵器！？を開発中の模様。今回お披露目はされないかもしれませんが、予選辺りでもし披露があれば皆、驚愕することでしょう！！